

沼津高架PIプロジェクト・「Step2(目標の設定)地域づくりの目標」(案)に対するご意見と回答

項目	No.	ご意見	回答
1 ・ 広域的な地域づくりの目標	1	(地域経済) についての認識は理解でき、評価する。 早急に決断し、実行に移さなくてはならない。 参考 3月27日厚生労働省・人口問題研究所が公表した推計値によれば、2040年の沼津市の人口は28%強も減少するとされている。浜松・静岡・富士などの市に比べ減少率が多い。 その一番の理由は、市長をはじめ沼津市行政の無策振りならびに市議会のチェック機能不全 にあると思う。若者の沼津市から好環境の長泉町等への移住が顕著だといわれている。	ご意見ありがとうございました。
	2	(基盤施設) についての認識については、評価できない。 理由 折角国や県が県東部発展の為にとして計画を立案し事業(注)を進めようとしても、沼津市がそれに順応しようとしてこなかった。具体的には、前世紀に一部の人間によって立案された沼津駅鉄道高架化事業を優先するあまり市民生活向上に関する他の事業には予算配分出来なかったものとする。 (注)東駿河湾環状道路の原地区ゴールまでの工事 ・新東名の沼津駿河湾SAのスマートインターチェンジ化とアクセス道路の着手の遅れ等々 ※この優先順位を間違えたため、東海大学は去り、西武百貨店も去ってしまった	ご意見ありがとうございました。
	3	(災害リスク)について・・・確かに意識は高まってきていることは事実ではあるものの、行政の対応が全く見えてこない。もっと迅速に対応する事を望む。	ご意見については、沼津駅鉄道高架事業を考える上での地域の課題や将来像として、「2.沼津駅周辺地区の地域づくりの目標 5.地震や津波にも強い地域に(防災)」及び「3.原地区の地域づくりの目標 5.水害にも津波にも強い地域に(防災)」にて、同様の主旨を目標として記載しています。
	4	(広域的拠点) コンベンションセンター等を作れば高次都市機能の集積が図れるとは考えられない。そもそも「高次都市機能とは何か」と市職員に訊いても明確な回答を得ることが出来なかった。	静岡県総合計画「富国有徳の理想郷 ふじのくにのグランドデザイン基本構想(平成23年2月)静岡県」による県東部地域の地域づくりの基本方向を記載していますので原文のとおりとしました。
	5	(広域的拠点) 県としても、.....として、コンベンション等の高次都市機能の 集積を図ることで圏域の求心力を高めることとしています。 →.....として、都市の広域共同体制を図ることで、圏域の求心力を高めることとしています。	

項目	No.	ご意見	回答
(2) 地域づくりの目標	6	1-1 広域的な拠点地域に 単純には賛同できない。自然や景観、歴史・文化等々申し分ない地にあることは認める。だからといって県東部の拠点地域になれるとは思えない。今日の沼津市の衰退はそれら好条件を有機的に結びつけてこなかったからだと考える。その背景には、沼津市民の気質や政治への無関心さが考えられる。	「1.広域的な中心に(拠点)」では、県東部地域の各都市が連携し、また、広域的な拠点地域を目指すことを地域づくりの目標としています。  ご意見の主旨を踏まえ、「1-2 地域でうまく連携して」について、「三島や伊豆箱根地域など、県東部地域の都市が連携しながら、行政や産業など相互に必要な機能及び役割を補完しあい、」と追加しました。
	7	沼津は自然や景観、気候に恵まれた街という点では誰にも異論はない、しかし近年地盤沈下が急速に進み、既に東部の中核都市とは言えない、近隣市町はそれなりに進展しており、斜陽化の進む沼津との統合は嫌っている。沼津市が大きく取り残された要因の分析が不十分のように思う。他市町から見た沼津への期待なども必要なのではないか。	
	8	沼津の町だけを活性化しようとしても沼津から遠くの県の人々への観光地としてのアピールは弱い。三島、伊豆、等を巻き込んだ広域的な繋がりを持ってキャンペーンをすべきだ。行政についても無駄を排除し、統合合併などを進めるべきだ。	
	9	・広域的拠点地域に「・・・沼津市には自然や景観・文化・教育・医療・食などの魅力を生かした拠点地域づくりが求められています。」 ・東部地域(沼津・三島・長泉・清水・裾野・御殿場・小山・函南等)全体として力を結集しての都市づくり・まちづくりが求められていると考える。沼津だけで人口や産業を集積したり、商業を活性化することは不可能である。	
	10	1-2 地域でうまく連携して これほとても大事なことで是非実現させて行きたい。これまで、市政をはじめ市議会、商工会議所、連合自治会などが、実態が伴わないのに「沼津市が東部の雄」だとの態度を取り続けてきたことから、近隣市町の人たちから好ましく思われて来なかったことを大いに反省し謙虚な気持ちで共存共栄の付き合いをしていきたい。	
	11	沼津市の全体として、もっと人口を増やし、にぎわう町にしたい。今でも全体的には込み合う、バイパスと旧国道一号線、八間道路が不便だと思います。それと港のほうの道路の白線が消えていて、夜などは危ないと思います。また発展させるにはもっと仕掛けが必要だと思います。あれだけ港が土日に込むのだから、平日にも観光にきていただけるように、観光地をスポット的に紹介するマップなどを駅に置いたり、路線バスもわかりやすく表示。馬車を走らせるなど、他の町がやっていないような、特殊なことをすればいいと思う。	

項目	No.	ご意見	回答
	12	<p>2. 交流拠点としての賑わいを(交流) 賛同できない。</p> <p>2-1 交通の要衝として裾野にインターが出来、伊豆縦貫道が次第に整備され始めるに従い、交通の要衝としての地位はむしろ新幹線駅を有する三島に移ったと見るべきであろう。鉄道を高架にすれば沼津に賑わいを取り戻せるなんて考えは捨て去るべきである。第一に人口は減少傾向にありしかも高齢化していくことを念頭に置くべきである。第二に伊豆方面に行こうと思う人は、信号がたくさんある街中の道路は選択しない。途中で魅力あるスポットや店舗でもあれば別だが。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
	13	<p>2-2 モノの交流拠点として 2-1と同様の理由からあまり期待できない。沼津市の魅力は何と言っても自然・景観にあると思う。グローバル化が一段と進み企業の海外進出が当たり前の時代に、しかも固定資産税の高い地区に新たに企業が進出してくるわけが無い。尤も、国や県のファルマバレー政策に則って医療関係の企業進出は期待できるかも否それに特化して推進していかなければならないと思う。</p>	<p>ご意見については、「2.沼津駅周辺地区の地域づくりの目標 3.持続的な経済活動と雇用機会を(産業・雇用)」等及び「3.原地区の地域づくりの目標 3.地域に活力を(産業・雇用)」等にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	14	<p>2-3 災害時の代替機能や復旧・復興の拠点として このことはあまり評価できない。沼津高専の元教授西岡先生や沼工の元教諭故清先生が生前よく「沼津駅周辺はその成り立ちからみて、液状化現象が生ずる可能性大だ」と主張していたことを思い出す。M9以上の地震でも発生しようものなら当地が被害地になること必死である。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
	15	<p>(戦略)の3-3長期的視点から抜本的な対策をの項目について、高架事業は着工したとしても、15～20年以上に及び(完成まで)人口減少、高齢化が進む中で財政面で事業費に耐え得るか？ 検討項目に入れるべきと考えます。</p>	<p>ご意見については、「4.税金は効果的に使ってほしい(財政と事業効果)4-1沼津市財政に無理がないように」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	16	<p>3. 何もせずに過ごすのは問題(戦略)</p> <p>3-1 早く結論を 全く同感である。そのために、現在PIプロジェクトを進めているのではないのか。だからこそ、市当局、商工会議所、連合自治会などは率先して市民や企業に呼びかけ早期にまちづくり構想をまとめるよう努めるべきである。</p> <p>3-2 すぐに効果が現れる対策を 全く同感である。そのためにも、市当局は沼津市の財政状態を正確に公表すべきであり、一方予算執行の番人たる市議員をはじめ企業経営者、一般市民も国内外の社会・経済情勢を見ながら沼津市政をチェックしていかなければならないと思う。</p> <p>3-3 長期的視点から抜本的対策を 全く同感である。「何十年も前に先人が計画したものだからやり遂げなくては」などと言って鉄道高架事業に固執することなく、時代に即した計画・立案のもと実行することが肝要だ。</p> <p>3-4 効果的で戦略的な投資を 3-3と同様全くその通りだと考える。</p> <p>3-5 市民と民間と行政が協力を 全く同感である。現状では、市民の代表である市議、民間(企業)の代表たる商工会議所そして行政は、沼津市民の想いを聞こうともせずただ自分たちの利益のみの追求に走っているように思えてならない。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

項目	No.	ご意見	回答
	17	4. 税金は効果的に使ってほしい(財政と費用効果) 4-1 沼津市財政に無理がないように 全く同感である。 4-2 大きな費用に見合った対策を 全く同感である。 斎藤元市長が鉄道高架事業に ゴーサインを出した際掲げたB/C は2.74であった。然るに一昨年開催された有識者会議で示されたのは1.5であった。何れの場合もその根拠については明瞭な説明はなかった。	ご意見ありがとうございました。
	18	P3の修正 4-2大きな費用に見合った対策を →費用に見合った対策を	ご意見を踏まえて、修正しました。
2 沼津駅 周辺地区の 地域づくりの 目標	19	(人口減少・少子高齢社会)・・・この現象はなにも中心市街地ばかりの問題ではないが、真剣に取り組まなければならない問題である。	ご意見ありがとうございました。
	20	(広域的拠点として)・・・県東部地域の拠点だと構えることなく、要はその地区住民や他地区から訪れる人も、何か安らぎを覚えるようなそんな場所にしたい。	ご意見ありがとうございました。
	21	(観光・食)・・・全く同感である。まちづくりの専門家を交え、駅舎のデザインも含め早急に取り組むべきだ。	ご意見ありがとうございました。
	22	(新たな産業振興)・・・ファルマバレー・プロジェクトに対応できるチームを早期に立ち上げるべきだと考える。	ご意見ありがとうございました。
	23	(周辺での社会基盤整備)・・・東駿河湾環状道路の整備は急務だと考える。この道路は国道1号線の渋滞緩和に大いに役立つものとする。	ご意見ありがとうございました。
	24	(地域の交通)・・・賛同しかねる。アンダーパスが3本もあり、分断されているとの表現は正しくない。あまねガードや三つ目ガードをのぼり道ガードのように拡幅・改良すればいい話だ。東南海大地震が予測される中、わざわざ東海道線という日本の大動脈を危険にさらす高架化には断固反対する。それより、急がなくてはならないことは、来年完成する「ブラサベルデ」(注)の利活用を促進するためにも南北自由通路を早期に完成させることだ。見学者が絶えないようなそんな「橋上駅」にしたいものだ。 (注)スペイン語読みではヴェルデは間違いとのことで私はあえてこのように記述した。	ご意見ありがとうございました。
	25	(災害リスク対策)・・・全く同感である。沼津という地名にあるように駅周辺は地盤が軟弱だと言われてきた。その場所に倒壊が予想される鉄道の高架化など断じて行なってはいけない工事である。	ご意見ありがとうございました。
	26	まず、住みやすく公共交通機関を使いやすい環境を作ることが大事だ。商店街を活発にしようとしなくとも人が沢山住んでくれれば、近くの商店街はにぎわってくる。多くの駐車場や交通渋滞により人は来なくなる。	ご意見については、「4.外も中も移動しやすく(交通)4-5利便性の高い公共交通を」及び「地域づくりのポイント①:賑わい・活力・持続性」「地域づくりのポイント③:交流を支える移動性とアクセス」にて、同様の主旨を目標として記載しています。

項目	No.	ご意見	回答
	27	<p>1.西武の撤退もあり、駅周辺の賑わい消滅の危機。行政にはその危機感は全くない。しかし時間はない出来ることから着実に。</p> <p>2.西武さえギブアップしたのだから中心街への大型商業施設の誘致はムリ。官公庁、文化施設など人の集まる施設を駅周辺に集中させれば賑わいを創れる。</p> <p>3.人の集まる処は、飲食、小売業は自然と集まってくる。</p>	<p>ご意見については、「1.誰もが暮らしやすく(暮らし)1-2生活に必要な施設が揃い便利な地域に」及び「地域づくりのポイント①:賑わい・活力・持続性」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	28	<p>生活関連施設がコンパクトに集積:沼津市役所や静岡県庁分庁舎への届け出や相談が交通アクセスのよい沼津駅前で一括してできるような出張所のような施設があると行政が身近になると思いますが、市や県は駅前に出てきて戴けますか。「多世代・多様な人が集まる」ために旧西武新館でなかなか苦心された計画があるようですが、一筋南の通りにある当 本田さくら眼科医院の入院設備が風俗営業法上問題となり、入院施設の届けを取り下げよう要請されました。「商業活動に多様性がある」という観点から、「誰もが安心して暮らせる街…健康や医療が充実…」:小規模ですが、再び住民が集まり始めた沼津駅南地区で網膜剥離・緑内障・涙道疾患を短期入院での治療を目指している当院としては、現状で共存することはできないのでしょうか。</p>	<p>ご意見については、「1.誰もが暮らしやすく(暮らし)1-2生活に必要な施設が揃い便利な地域に」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	29	<p>1. 誰もが暮らしやすく(暮らし)…本項目については全く同意見である。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
	30	<p>・「生活に必要な施設が揃い便利な地域に」…このことは、中心部だけでなく市内のどこに住んでいても必要なことである。中心地に住む人のことだけを考えるのは問題があるのではないか。沼津市民にとって必要で便利な地域でsるべきだ。</p> <p>・「広域から人の集まる街に」「街なかに賑わいを」…この目標のところ「海外からも」と記述されているが「国内外から」の方がよい。現状は衰退化している状況であるから、なぜそうなったか原因の分析が必要。その上での対策が出てくると考える。</p>	<p>ご意見を踏まえて、「2.多くの人が集う街に(交流)2-1広域から人が集まる街に」について、「県東部地域からだけでなく国内外からも人の集まる」と修正しました。</p>
	31	<p>2. 多くの人が集う街に(交流)</p> <p>2-1 広域から人が集まる街に…このためには単にはこものを作ればよいというものではない。夫々の分野の専門家を育て上げ配置することが求められる。</p> <p>2-2 街中に賑わいを…魅力ある商店(商品)を取扱うようになれば自ずと人は訪れるもの。矢張り商店主の努力如何である。</p> <p>2-3 観光・色のポテンシャルを活かして…条件は揃っている。ただそれらを活かそうとする人材がいなただけである。専門家を招聘し、人材教育から始めなければならぬ。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

項目	No.	ご意見	回答
	32	<p>沼津のイーらは成功していると思います。これがまた同じようなテナントを集めてもうまくいかない。静岡県東部はファルマバレーのことから、高度医療の病院を持ってきて、がんセンターとの連携もはかるなど、医療と、観光で外部からの人を呼び込む町にしたい。今の少子高齢化の町では、内部での取り組みだけではおろわない。そして沼津に多い螺子製造業の下請け会社。弊社も同じく、海外移転で大変苦しい状態です。医療用機器は海外からのものが90%と聞きます。そこを行政の力もかりて、国産品、地場品に、もっていけないか。そうして行政も一丸となって力を貸してくれないと、これからはもっと厳しくなり、雇用の場がなくなり、税収も上がらず、住民も移転していくと思う。まず病院、そして産業構造の変化まで視野に入れた仕組みづくりをしていったら、東部は間違いなく大きく生まれ変わると思います。</p> <p>患者も来ることにより、観光も発展していくし、住民移転の原因である、津波対策としても病院は沼津の中心市街地にあつたほうが良いと思います。</p>	<p>ご意見については、「3.持続的な経済活動と雇用機会を(産業・雇用)3-1新たな産業とビジネスを」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	33	<p>行政には資金力、人材があると思います。上記のような医療機器づくりの町や病院の呼び込みを考えると、とても個人では出来ないと思います。そのため行政のちからがやはり必要だと思います。</p> <p>あるひとつの方向性を持って、大多数が大きく儲かるような仕組みを、考えてもらいたいです。</p> <p>そもそも産業があれば働く場所も、税収も増えると思います。そして医療の町なら安心して暮らせると思います。そのためにはおおきな方向転換と、行政の協力が必要です。</p>	
	34	<p>3. 持続的な経済活動と雇用機会を(産業・雇用)・・・東京などと異なり事業所数が圧倒的に少ないため、行き交う人も少ない。現在沼津市内のメインストリートに点在する商店主の多くは、千本や香貫地区に居住していると聞く。従って、サラリーマン店員が退出すれば街中は真っ暗闇となってしまう。従って、本項を実現させる為には、先ず事業主がそこに居住し、自らの仕事を愛し、夫々の事業主間の情報交換をすることが求められていると思う。</p>	<p>ご意見については、「1.誰もが暮らしやすく(暮らし)」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	35	<p>4. 外も中も移動しやすく(交通)</p> <p>4-1 広域からアクセスのよい地域に・・・本項には賛同しかねる。アクセス性を向上させるだけでは人は集まらない。素晴らしい自然環境を有機的に結びつける人材と努力が必要だ。</p> <p>4-2 スムーズで安全な自動車交通を・・・鉄道を高架化にすれば自動車交通が円滑化できること自体、認識が甘すぎる。駅の南北には縦横の自動車道が走っており夫々に沢山の信号があり、これが車の流れを悪くしていることを理解すべきだ。また、現在のアンダーパスは橋上駅が完成の後、使い勝手の良いように改良していけば済むことだ。</p> <p>4-3 歩いて楽しい街なかに</p> <p>4-4 自転車での快適な移動を・・・上記2項は鉄道高架化を前提とした記述だと思うが、東京から大阪までの駅舎で高架化されているのは静岡と浜松だけだと聞く。近隣では、東静岡駅、清水駅、藤枝駅 その他沢山の駅は橋上駅である。完成までには3～4年で済んでいる。勿論費用は数十億円前後で、利用者に聞いても強いて不満はない。</p> <p>4-5 利便性の高井公共交通を・・・本項には賛同する。</p>	<p>ご意見については、「2.多くの人が集う街に(交流)」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>

項目	No.	ご意見	回答
	36	<p>P4の修正</p> <p>2-2 かつての賑わいを一人に優しく、すみごちの良い街に</p> <p>2-3 観光・食のポテンシャルを活かして→環境・景観・食のポテンシャルを活かして</p> <p>3-1 新たな産業とビジネスを→新たな産業とビジネスを(六次産業等)</p> <p>4-5 公共交通が便利に使えて賑わいを生む →市民の足としての公共交通が便利に使えて住み易い街を</p>	<p>2-2、4-5のご意見については、勉強会参加者から賑わいは必要との意見が多数ありましたので原文のとおりとしました。</p> <p>3-1のご意見については、六次産業に限らないため、原文のとおりとしました。</p> <p>2-3のご意見についてはご意見を踏まえて、修正しました。</p>
	37	<p>P13の修正</p> <p>4-5利便性の高い公共交通を 路線バスなどの公共交通網が充実し、・・・。 →市民の足となる路線バスなどの公共交通網が充実し、・・・。</p>	<p>ご意見については、「市民の足」が無くても意味が通じるため原文のとおりとしました。</p>
	38	<p>P14の修正</p> <p>5-2災害時の避難を円滑に 地震や津波の際に、・・・です。特に自動車交通については、駅の南側から・・・ →地震や津波の際に、・・・です。特に駅の南側から・・・ (避難時には、自動車渋滞が起きますので、自動車の移動は危険であるので)</p>	<p>ご意見を踏まえて、修正しました。</p>
	39	<p>5. 自身や津波にも強い地域に(防災)・・・下記3項目は鉄道高架化を念頭に書かれているが例えば東南海大地震などが発生すれば高架橋は倒壊して南北交通を長期間にわたって阻害する事になりかねないということを念頭におくべきである。</p> <p>5-1 災害リスクへの備えを・・・橋上駅とした場合も、南北往来の円滑化のため、現在の3つのアンダーパスの拡幅・改良を行なうことは当然である。優先順位を違えずに。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

項目	No.	ご意見	回答
(3)地域づくりのポイント	40	<p>● 地域づくりのポイント①:賑わい・活力。持続性・・・実に上手くまとめられていると思う。スケールその他違いはあまりに異なる点は承知の上で申上げれば、パリの街を見れば中低層のビルが整然と並び、1階には商店が軒を連ね、上層には居住空間(住宅)が存在する そんな街に変身できればと願う。最近共同通信の客員論説委員 皆川鞠一の講義を受けたが、北欧の住居区の中には必ず医師・介護士が24時間態勢で待機しているので、老若男女安心して生活できる由。是非参考にしたい。</p> <p>● 地域づくりのポイント②:産業立地と雇用機会・・・①に同じ</p> <p>● 地域づくりのポイント③:交流を支える移動性とアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者のための空間・・・橋上駅でも可能であり是非早期に実現させたい。</li> <li>・ 公共交通・・・西武百貨店撤退後のデザインを早急にまとめ、駅周辺のひろば創出に努めるべきだ。</li> <li>・ 広域アクセス・・・上記に同じ。</li> <li>・ 交通の循環(サーキュレーション)・・・優先順位に従い、現在の3つのアンダーパスの拡幅・改良を行なうことで可能となる。</li> </ul> <p>● 地域づくりのポイント④:安全で安心な地域・・・全く同感である。</p>	ご意見ありがとうございました。
3 ・ 原 地 区 の 地 域 づ く り の 目 標	(1)地域を取り巻く状況について	<p>41 ● (社会基盤整備)・・・これまでの市政が関心を示さなかったことだが、非常に大きなインパクトを秘めたものだ。鉄道高架に遣う金をこちらに回すべきだ。</p> <p>● (地域資源)・・・安藤広重が描き、白隠禅師がこよなく愛したあの風景再現を目指したい。</p> <p>● (雇用・産業)・・・TPP参加問題を身近な問題として捉え、農林業に重点をおきたい。</p> <p>● (医療・福祉・健康関連産業)・・・貨物駅用地として市が所有する用地周辺を有効活用して是非とも実現させたい。用地売却を拒否していた人たちの大部分も、このためなら売却に応じることを表明している。</p> <p>● (災害リスク)・・・新田～植田間に水害対策、農業・観光振興を兼ねて大きな遊水池を作ることを提案する。</p>	ご意見ありがとうございました。
	(2)地域づくりの目標	<p>42 車両基地など作らずに、文化、教育、医療、観光等の市民のため、更に沼津以外の人々が入り出す施設を作る。</p>	ご意見については、「2人が集まる魅力ある地域に(交流)」及び「地域づくりのポイント①誇りである文化と景観の活用」「地域づくりのポイント②農や自然と共存した産業・暮らし・賑わい」にて、同様の主旨を目標として記載しています。



項目	No.	ご意見	回答
	43	<p>1.原地区はもともと自然環境に恵まれた処。このことを一番の基本において地域振興を考えるべき。</p> <p>2.寺など由緒ある歴史文化に恵まれており、全国に向けてもっとPRしていきたい。市の観光行政の重要な課題と思う(白隠の全国への発信など)</p>	<p>ご意見については、「1.自然豊かな暮らしを(暮らし)1-1豊かな住環境を守り活かすための地域づくりを」、「2.人が集まる魅力ある地域に(交流)」及び「地域づくりのポイント①:誇りである文化と景観の活用」「地域づくりのポイント②:農や自然と共存した産業・暮らし・賑わい」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	44	<p>原はベットタウンまたは宿場町としての名残を生かして行ったらどうか。沼津が発展していけば、原もすむかたが多くなっていくと思います。</p>	<p>ご意見については、「1.自然豊かな暮らしを(暮らし)1-1豊かな住環境を守り活かすための地域づくりを」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	45	<p>1. 自然豊かな暮らしを(暮らし)</p> <p>1-1 ゆたかな住環境を守り活かすための地域づくりを…全く同感である。</p> <p>1-2 地域への愛着と誇りを大切に…全く同感である。特に少子高齢化と教育の偏重に伴いこの気持ちが変わってきたことに危機感を抱いてきた。特に幼保小中の教育現場での取上げを望む。</p> <p>1-3 誰もが安心して暮らせるまちに…私自身も含め高齢化が加速化されているだけに、是非実現させたい。</p> <p>1-4 将来を見据え計画的に…全く同感である。なお、計画立案時には専門家や次世代を担う小中学生や高校生などにも是非参加させたい。例えば研究発表とかコンクールで。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
	46	<p>2. 人が集まる魅力ある地域に(交流)</p> <p>2-1 ゆたかな地域資源を活かして…施設の誘致などではなく地域資源(景観)の修復・維持することを重視したい。10年くらい前までは沼川はへら鮎のメッカとして知られ、遠く水戸の方からもバスを連ねて大勢の人が訪れていた。沼川その他の河川(特に土手)の修復と維持管理の徹底が急務である。</p> <p>2-2 広域から人を呼び込む…2-1に同じ。</p> <p>2-3 賑わいを生む仕掛けを…全く同感である。前述の遊水池を作る際での膨大な量の土砂を使ってパークゴルフ場を設けるとか夢は広がる。</p>	<p>ご意見については、「1.自然豊かな暮らしを(暮らし)1-1豊かな住環境を守り活かすための地域づくりを」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	47	<p>3. 地域に活力を(産業・雇用)</p> <p>3-1 地域資源を生かして商業に活力を…</p> <p>3-2 産業が集積し雇用を生み出す…TPP参加を前提とした農業の推進が求められている。</p> <p>是非積極的に進めていきたい。一般市民、商工会、農協などが参加し叡智を絞らなくては。(情報収集が大切だ)</p> <p>3-3 「農」に関する地域の文脈を活かして…まったく同感である。このためには、現在存在が全く見えない所轄官庁、金融業や葬祭事業にのめりこみ農業振興には関心を示していない農協、農業生産に意欲を示す若手農家、それにワタミやローソンさらにはIT関連業者などを交え先端技術も導入し天候に左右される事なく生産でき、且つ売れる農産物の生産に乗り出す。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

項目	No.	ご意見	回答
	48	<p>4. 広域も南北も移動しやすく(交通)</p> <p>4-1 広域からのアクセスのよい地域に…集まりやすくするための仕掛けをしなければ、いくら地域資源があっても集客できない。</p> <p>4-2 地域内の安全で快適な移動を…しっかりとしたデザインのもとまちづくりをしなければならない</p> <p>4-3 公共交通が便利に使える…高齢化に伴い、公共交通網の整備が不可欠となる。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
	49	<p>・「水害にも津波にも強い地域に」(防災)…この項目は本来一番大事なことで一番最初に来るべきことである。沼津市の目標でも一番大事な命・財産の問題である。原地区でも何十年も前から県や市へ要望してきたことであり、観光・産業・農業等も関連させて遊水池公園とか道の駅とか地域の構造改革を考えるべきだと思う。</p>	<p>ご意見については、「5.水害にも津波にも強い地域に(防災)」及び「地域づくりのポイント③:新たな地域づくりを支える基盤づくり」にて、同様の主旨を目標として記載しています。</p>
	50	<p>5. 水害にも津波にも強い地域に(災害)</p> <p>5-1 災害リスクへの備えを…まったく同感である。</p> <p>5-2 災害時の避難を円滑に…現状原地区には高い津波がやって来ないとの認識の下、市としての計画がない。万全を期して備えをしなければいけないと考える。</p> <p>5-3 安全・安心で選ばれる地域に…全く同感である。自らのために自からが参加し考え行動することが大事である。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
	51	<p>P5の修正</p> <p>3-1地域資源を活かして商業をに活力を→地域資源を活かして地場産業に活力を</p> <p>4-3公共交通が便利に使える→市民の足としての公共交通の充実を図る</p>	<p>3-1のご意見については商業について述べる項であるため、ご意見を踏まえて、「3-1地域資源を活かして地域の商業に活力を」に修正しました。</p> <p>4-3のご意見については、「市民の足」が無くても意味が通じるため原文のとおりとしました。</p>
	52	<p>P21の修正</p> <p>3-3「農」に関わる地域の文脈を活かして</p> <p>四季を通じて…新たな農業を展開することで、…</p> <p>→四季を通じて…新たな農業即ち、体験農業、市民農園、農業の企業化等を展開することで、…</p>	<p>具体的な方策のご提案のひとつとして認識しています。</p>
	53	<p>P22の修正</p> <p>5. 水害にも津波にも強い地域に(災害)→水害にも津波にも強い地域に(防災)</p>	<p>ご意見を踏まえて、修正しました。</p>
(3)地域づくりのポイント	54	<p>● 地域づくりのポイント①: 誇りである文化と景観の活用…安東広重が絵に残した地区を乱開発から守り、平成の浮世絵師が描きたくするようなそんな景観を築き後世に残したい。</p> <p>● 地域づくりのポイント②: 農や自然と共存した産業・暮らし・賑わい…全く同感である。</p> <p>● 地域づくりのポイント③: 新たな地域づくりを支える基盤づくり…全く同感である。これまでの公共事業はとかくそれだけで終わっている。即ちB/Cが1以下に終わってしまっている。今回は、将に平成の大プロジェクトと捉え、後世に誇れるようなそんな事業に。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

項目	No.	ご意見	回答
4.PIプロジェクトの進め方・今後のプロセス	55	アイデアを出すのは固定メンバーだけでは駄目だ。市民を丸め込めるのではなく、意見を聞いて貰いたい。	ご意見の通り、沼津高架PIプロジェクトでは、固定メンバーからなる勉強会だけではなく、オープンハウスや車座談議、ホームページ、広報紙など様々なコミュニケーションを工夫して、幅広い市民の皆さんのご意見をお聴きしながら進めていきます。
	56	1.最大の当事者である沼津市がPIに出てきていないのはどう見ても不自然。 2.人口減少、商工業売上高減少の続く中、沼津市の税収が増加する根拠を明らかにしてもらいたい。	静岡県では、沼津高架PIプロジェクトに関して沼津市への積極的な情報提供を行っています。
	57	・今まで「目標づくり」を話し合ってきたが、話し合ってきた「街づくり」を実現するには土地所有者の賛同や莫大な資金が必要になる。そこをどう考えるのか。 ・目標作りをしてきたが、有識者会議の報告書とは結びつかないと思うが・・・つまり「鉄道高架化」の必要性につながらないと考えるが、どう扱うのか。明確な方向性を！！	ご意見ありがとうございました。

項目	No.	ご意見	回答
その他	58	<p>1.本年から明年にかけ北口に待望のコンベンションセンターがオープンする。沼津が元気になる一つのキッカケとなるかも知れない。</p> <p>2.そのためには一日も早く南北通路を作り、利用者の便益を向上させることである。高架化事業が完成する15～20年先まで待っている訳にはいかない。それ迄あまねガードの地下道では危険も多い。</p> <p>3.清水駅、東静岡駅のような自由通路であれば、ほんの数年僅かな予算で完成する。</p> <p>4.この自由通路を工事しながら、沼津駅軌道上への人工地盤建設を研究してもらいたい。幸い沼津駅はJR軌道の数が多く、為に南口、北口間の距離がある。この軌道の上に5千坪程度の人口基盤を設置し、その上に緑地、官公庁(市役所)、文化施設、病院などを集中的に配置すれば、市民にとって便利な場所となり、又、南北両地域を一体化させるチャンスとなる。</p> <p>5.人工地盤建設費:仮に坪当たり100万円かかるとして、5,000坪×100万円で50億円。鉄道高架に比べ、ずっと安い投資で済む。</p>	<p>地域づくりの目標を達成するための手法に関するご意見として、「ステップ3代替素案の設定」における検討の材料とさせていただきます。</p>
	59	<p>沼津駅を鉄道高架にし沼津駅周辺を再生させる。昭和60年頃からの沼津市の構想に対し、イメージ先行で、事業説明800回以上と言っているが鉄道高架の上辺だけの説明で実際の構想を今もって沼津市はしていないし説明できない曖昧な内容。沼津駅鉄道高架に関する沼津市、静岡県の小冊子、資料集、Q&amp;A集。パソコンで静岡県と沼津市の沼津鉄道高架駅のページ、全国の鉄道高架・橋上駅の概要。長谷川徳之輔氏、藻谷浩介氏、戸崎肇氏、川瀬憲子女氏等の講演会。時には沼津市、静岡県職員に鉄道高架の疑問を聞き沼津駅高架の実態を調べた。</p> <p>13の踏切、3ガードを無くす。鉄道高架費787億円。平成32年度完成。全体工事費負担費は国、県、沼津市3分の1。財政的に心配ない。これら公式発表は全て補足が必要。沼津駅上りの八つの踏切の内、幅員四メートル以下の1車線通行が4箇所、そのうちの1箇所は歩行者専用踏切、のどかな踏切、踏切らしい踏切は二箇所。沼津駅下りの五つの踏切は明電舎の引込み線、新車両基地の通路線のため高架線にしても踏切の存在を消せない地形的構造。駅から下りの高架線は五番目の第三小諏訪の最後の踏切までの高架線と地上線の二重構造。下り線最初の踏切の第一間門は、東海道本線の高架線、引込み線と車両基地のための地上線、人と車のガードの三重構造。第二間門は高架線と踏切の二重構造。他にも地下道や歩道橋と下り線はなぜ延々と高架にするのか説明できない構造物。その結果13の踏切を無くしても踏切を新設するし地下道や歩道橋を作る。三つのガードを埋めて無くすとしているが、鉄道高架のために新たに四つのガードを作る。鉄道高架費787億円は、新貨物駅と新車両基地の用地費を含まず、高架関連費用を合わせると1500億円以上と記載がある。平成32年度完成は工期期間15年と宣言してはじめてから無理。全体工事費負担費1998億円の予定。国38%の764億円。静岡県17%の343億円。沼津市37%の740億円。その他8%の151億円。市の1/3負担費は誤りで、県職員が事業仕分けで言った沼津市の負担ざっくり言って1千億円。現金が無いから利子を合わせると2千億円は当局の本音。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>

項目	No.	ご意見	回答
		<p>静岡と浜松は国鉄、沼津の場合はJRと民間企業となり鉄道会社の工事費負担率が激変した。鉄道高架の目的は南北交通対策のはずなのに道路もいい加減。鉄道近くの道路を少し拡幅するだけの道路計画。鉄道高架の目的は沼津に巨大箱物を作る事。箱物行政そのもの。昭和のバブル期の迷走を引き継いでいる。しかも余りにも巨大なプロジェクトで鉄道高架本体工事が始まらない。(平成25年1月10日公表の鉄道高架事業執行率2.9%)平成元年12月29日の大納会3万8915円89銭の株価。アベノミクスで株価高騰でも1万2千円台、特急あさぎりの新設、廃止。リーマンショック、阪神淡路大震災、東日本大震災、十字屋、長崎屋、丸井、西武の撤退、21万人都市から戸田と合併をしても20万人割れ、昭和から平成、沼津の街づくりの基本が変わった。昭和20年戦争が終わり、全国各地が復興する過程で沼津市は仲見世商店街とアーケード名店街の二つの先端的な商業施設を作り全国の注目を浴びた。御用邸、丹那トンネル開通による新東海道本線の熱海・三島ルート、旧東海道本線の御殿場線ルート、機関区、沼津港施設、伊豆・富士・箱根の玄関口、西武百貨店地方1号店、温暖な気候、新幹線、高速道路、3,000人の富士山山の幸、3,000人の駿河湾海の幸、東京の奥座敷として地の利を活かした経済・産業・文化が機能した都市が形成された。しかし平成25年の今、華やかだった昭和の沼津の面影を探すも困難な状況となった。シャッター通りは全国の商店街の共通用語になっているが、老朽化し耐震の心配な沼津アーケード名店街は地主地権者が一体となり新たにアーケード名店街を作り直しに向け調整が進んでいると聞く。沼津駅前にしても旧沼津軒、旧ニチイ、富士急本館、旧西武と街に彩を添えた商業施設が終焉状態の状況となっている。</p> <p>昭和の成長期、地方都市の先頭だった商都沼津は駅前商業施設を再開発して黄泉がいさせられるかどうかの時期だ。もう一度地方都市の先頭に立つ機会を捉えられるか、このまま各地主・地権者は商業施設を個別に事を進めるだけの知恵と力と資金があるのか。事業主・地権者の参加合意が無いと推進できないが、成長期が過ぎ衰退期を迎え始めている状況に適した街づくり、各施設の老朽化、耐震性、災害対策、少子高齢化、コンパクトシティー、子育て推進、青少年の育成、老後のサポート、文化の発信、イベント広場、駅前機能、キラメッセとの連携。時代に即した平成の沼津駅周辺再開発事業を造るべきだ。箱物高架はいらない。橋上駅とし駅南北をオーバーブリッジで結び広場を作る。地権者、都市専門家、行政、住民が参加しての街づくり。今行っている「沼津高架PIプロジェクト」の発展型。しかし今行っているPIプロジェクトの勉強会に地元行政の沼津市職員の参加が無い。地元の巨大プロジェクト方向性の会議に県からの参加要請に無視をし、鉄道高架事業は既成事実、市単独でも鉄道高架推進と市幹部・市会議員の市議会での公式発言。</p> <p>県方針を無視、鉄道高架の陳情要請。県と市の関係をPIプロジェクトに関わっている県職員はどのように決断するのか、県の対応が当面の課題だ。</p>	